

強皮症様皮膚硬化

ドセタキセル



59歳，男．食道癌(stageIVb)の肝転移に対し2006年9月に肝外側区域切除術，同年11月よりドセタキセルを2週間おきに開始されたところ2カ月後から両手の浮腫，両手背の灼熱感，両指関節の紅斑

が出現．両手指と右前腕に皮膚硬化，脱色素斑，色素沈着．DIP，PIP，MP関節に淡い紅斑と拘縮を認める．

(加賀美緒ほか：皮膚病診療 30：551, 2008)